

才能があふれる

校長 武井 正明

今日から私立受験が始まった。頑張れ!! 吉中教職員一同、皆さんの吉報を祈ります。

昨日の放課後、家庭科室と美術室を覗いてみました。

家庭科部では、保育園の園児のために、いろいろ手の込んだ作品作りに精を出していました。おばけ、おにぎり、ボールなど楽しい作品がいろいろです。

美術部では、1年生女子部員が声を掛けてくれました。

「校長先生、私の研究、見てくれましたか？」

もちろん。あなたの科学研究、感心して読ませてもらった。仮説を立て、実際にそうなるのかを、2種類の液体を使って時間をかけて丁寧に「対照実験」をしている。そして実験後の考察も明確で、一つの研究として立派な形を成している。とても中学1年生の研究とは思えなかった。自分にはない、研究者としてのセンスを感じる。

彼女は小学1年生からこの実験をやっていて、先生から個別に指導してもらったことはないとのこと。自分なりに実験を重ねて今回の研究に至ると聞いて、本当に驚きました。

さらに驚いたのは、自分は特に理科系の方向に進みたいのではなく、この研究は、現時点での将来の夢、漫画家になったら活かしたいと考えているということです。

新潟県は著名な漫画家の宝庫。そのうち触れようと思っているのですが、野球漫画のレジェンド、水島新司も新潟県出身です。

へえ～漫画家になりたいのか…。中学時代、いろんな選択肢の幅があって羨ましい!!

その美術部員たち、なかでも眼を惹いたのが羽子板づくりに筆を進めている彼女。

上手く斜めに仕切って、上半分は凧揚げをモチーフにした空の青、これから取り掛かる下半分は、日本の伝統芸能を表現したいという。「和」を意識したオリジナリティとクオリティの高いものに出来上がりそうだ。

この発想は、あなたが考えたの？

彼女は「はい」と頷いた。



すごいなあ、このデザイン力。これは才能だね。柔軟な頭脳でないと出てきません。

この機を逃さず、春、新入生たちを迎える校長室前の1枚も、余裕があったら取り掛かってもらえないかと依頼させてもらった。返事はイエス!ぜひお願いしますよ。

現在校長室前の、3年生の「狐の見た冬景色」これも毎日眺めている。飽きない。見れば見るほど、物語「手袋を買いに」を想起させる、温かい、味のある作品だ…。

たった1枚の絵が、人の気持ちを和ませる…。美術って、すごいな。